

## 研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： エコプロバイオティクスによる環境適応型サンゴの創出

2. 個人研究者名

高木 俊幸（東京大学大気海洋研究所 助教）

3. 事後評価結果

本 ACT-X 研究では、有用共生細菌を用いた褐虫藻の活性化・健全化を通じて環境適応型サンゴホロビオンを創出しようとする非常に意欲的かつ挑戦的な課題に取り組んだ。研究を実施展開する中で、幾度も予想し得ない難題に直面しながらも、真摯に向きあい、失敗を糧に課題を克服する過程で、思いも寄らない発見を積み上げながら一つ一つ着実に大きな成果を出している点は、挑戦的で魅力的な研究を志向する ACT-X らしい研究でもあり高く評価できる。特に、褐虫藻に対して有益な形質をもたらす有用共生細菌を発見するとともに、共生細菌－褐虫藻－サンゴの 3 者からなる「サンゴホロビオン」の作出に世界で初めて成功した点も極めて高く評価される。

今後は、本研究分野においてさらに大きな飛躍が期待されるとともに、学術分野のみならず、昨今の地球規模の環境変動に伴い、絶滅の危機にあるとも言われるサンゴ礁を守り・再生してゆく取り組みを国際的に推進・牽引し得る研究者としての活躍が大いに期待される。